



令和元年9月3日

## ガストーチバーナの不具合（ガス漏れ）による

### 火災が多発しています

東京消防庁管内において、メーカーが不明なガストーチバーナの不具合（ガス漏れ）により出火する火災事例が続発しています。昨年は9件、今年は既に5件発生。建物への損害や、負傷者が発生する火災も起きています。家庭料理やアウトドア等で使用する機会が増えつつあるガストーチバーナ、お手元の製品に異常がないか十分注意してください。



製品の外観



火災で焼損した製品

#### 【不具合（ガス漏れ）を起こしたガストーチバーナの特徴】

- 1 パッケージや本体にメーカー名の記載がなく、製造元が分からない
- 2 インターネット通販での流通が多く、様々な販売者が独自の名称で販売しているが、連絡がつかない販売者も多い
- 3 海外製であり、国内メーカー品に比べて低価格で部品点数が少ない
- 4 購入から短期間のうちにガス漏れを起こし火災に至るケースがある



再現写真

#### 【火災を防ぐために】

別紙を参照してください。

※ 再現映像と写真を希望する社は、広報課報道係までご連絡ください。


問合せ先

（東京消防庁（代） 電話 3212-2111  
予防部調査課 内線 5042 5048  
広報課報道係 内線 2345～2350）

【別紙資料】

1 不具合による火災が起きたガストーチバーナ

(平成31年1月～令和元年8月)

	
<p><b>4月 千代田区内で発生</b> 調理に使おうと点火した際、調整つまみの根元から漏れたガスに引火。</p>	<p><b>4月 江戸川区内で発生</b> 調理に使おうと点火しようとしていたところ、ボンベ取り付け部から漏れたガスに引火。</p>
	
<p><b>6月 世田谷区内で発生</b> 調理に使用中、調整つまみの根元から漏れたガスに引火。</p>	<p><b>7月 文京区内で発生</b> 調理のために点火したところ、調整つまみの根元から漏れたガスに引火。</p>
	
<p><b>7月 世田谷区内で発生</b> 調理に使用中、調整つまみの根元から漏れたガスに引火。</p>	

## 2 不具合の特徴

本来、炎が出る部分



火力の調整をするつまみの、根本部分からガスが漏れる事例が多い

## 3 万一火災が起きた時は

漏れたガスに引火し激しく燃え続けるため、容易に消火することができません。シンクの水栓やシャワーをかけたのに消せなかったという事例も多く報告されています。

ガストーチバーナをボンベから取り外せばガスの供給が止まり火は消えますが、トーチバーナそのものが炎に包まれていることが多く、火傷の危険があります。

消火方法として有効なのは消火器です。

消火器が無い場合は、多量の水を張った容器に水没させることでも消火できます。

ガストーチバーナを使う時、あらかじめ水を張ったバケツや桶を用意しておくことは効果的です。（※水の量が少ないと消えません）



もしも身近に消火器具が無い状態で火災に遭遇した時は、屋外へ搬出して開けた場所へ置き、119番通報してください。

また、火災の熱がボンベに伝わるとボンベが破裂して爆発的に燃えることがあります。火を遮ろうとして鍋に入れたりボウル等を覆い被せたりすることは熱の伝導を早め、かえって危険です。



#### 4 ガストーチバーナ火災発生状況

表1 火災発生件数と傷者発生数

発生年	平成26年 (2014)	平成27年 (2015)	平成28年 (2016)	平成29年 (2017)	平成30年 (2018)	令和元年 (2019)
発生件数	13	14	20	13	22	19
傷者数	6	5	5	6	14	12

※1 令和元年は8月末日現在

※2 発火源が「ガストーチバーナ」と記録されている火災件数

表2 原因の内訳

発生年	平成26年 (2014)	平成27年 (2015)	平成28年 (2016)	平成29年 (2017)	平成30年 (2018)	令和元年 (2019)
人為的な問題 によるもの	9	9	16	12	12	13
機器の不具合 によるもの	1	3	1	0	9	5
いずれか不明 なもの	3	2	3	1	1	1

※1 令和元年は8月末日現在

※2 「人為的な問題」とは、扱い方を間違えたり、本来の用途とは違う使い方をしたりしたために火災になったケースを指します

平成30年以降、全体の件数が増加傾向にあり、怪我をする人も増えています。その要因の一つとして機器の不具合によると判定された火災の割合が急増していることが挙げられます。